



令和6年(2024) 3月15日

44

いけのたいが

池 大雅 — 陽光の山水

本場中国とは異なる独特の文人画

2月25日、出光美術館で開催中の「生誕300年記念 いけのたいが 池大雅 — 陽光の山水」で国宝の「楼閣山水図屏風」と「十便十宜図」、重要文化財も5点を鑑賞しました。同展は、3月24日(日)まで開催されています。

大雅の絵は、緻密で美しく、細かい描き方、ユーモラスな人物、いろいろ調べて描かれた中国の風景、実際に訪れて描かれた日本の名所の風景絵などを楽しみました。また各展示作品に対する解説が大変わかりやすく、理解を深めることができました。

千頭の馬を描けとの注文に、山と谷の風景の谷間にびっしりと馬を描いた「千馬図」や「蜀の栈道」、「赤壁」、「西湖」などの中国の名所や「比叡山」、「浅間山」、「那智の滝」、「錦帯橋」、「宮島」などの日本の名所、室町時代に描かれた如拙じよせつの瓢鮎ひょうねんず図を意識して描かれた「瓢鮎図」の構図の面白さなど印象に残る作品が多かったです。

いけのたいが

池大雅(1723-1776)は、伊藤若冲や円山応挙らが輩出された江戸時代中期の京都画壇の中でもひととき多くの人々に愛された画家です。幼い頃から神童として知られ、当時中国より新たに紹介された文人文化に深い憧れを抱き、かの地の絵画を典範とした作品を数多く描きました。一方で自然の光の中で描くことで培った抜群の色彩感覚と大らかな筆致、そして彼がこよなく愛した旅で得た経験によって、本場中国とは異なる、日本人の感性に合致した独自の文人画を創り上げたのです。

出光美術館ホームページには、つぎのように紹介されています。

「晴れた日には戸外の白砂の上に屏風をひろげて絵筆をふるったという大雅の逸話の通り、その作品の前に立つと、きらめきに満ちた光や爽快な空気に包まれ、遠い中国の地でありながら、その風光の中に立っているかのような錯覚すら感じさせてくれます。厳選された名品を通して、「陽光の山水」と呼ぶにふさわしい大雅芸術の真骨頂を、心ゆくまでお楽しみください。」

出光美術館公式サイト

<https://idemitsu-museum.or.jp/>

<https://idemitsu-museum.or.jp/exhibition/present/>

〔 齋藤茂樹の北関東巡り バックナンバー 〕

#1 鎌倉殿の13人	#16 シアトルの花見	#31 陶器・像形展から銀座・日本橋界隈を散策
#2 紅葉の群馬県	#17 宇都宮市民合唱祭	#32 宇都宮芳賀ライトレール線開業
#3 栃木、埼玉の名所	#18 桜の名所 愛知・兵庫	#33 第14回男声合唱フェスティバルin宇都宮
#4 栃木、群馬県庁	#19 群馬の桜と上毛かるた	#34 コーア・リト 第5回演奏会
#5 全国御守り特集	#20 交通の要所・館林	#35 江戸城周辺散策
#6 世良田東照宮・家康	#21 第50回宇都宮市民合唱祭	#36 古巣の合唱団ノース・エコーとボーイング
#7 栃木・益子の陶器	#22 骨波田の藤と塙 保己一	#37 4泊5日の日光満喫旅行
#8 奥の細道むすびの地	#23 大室古墳群、鼻高展望花の丘	#38 日光で新たな発見！
#9 古鎌倉街道	#24 桜とあじさい、紅葉の太平山	#39 水戸ハッコレギウムを聴く
#10 新田義貞・上毛かるた	#25 ドン合唱団 歌い続けて65年	#40 笠間焼 益子焼 かさまじこ
#11 慈覚大師 円仁	#26 宇都宮市民芸術祭合唱フェス	#41 伊勢崎市の歴史／バレンタインデー
#12 バレンタインチョコ	#27 第63回群馬県合唱コンクールを聴く	#42 第51回宇都宮市民合唱祭
#13 梅の名所 愛知・京都	#28 お盆飾りを調べてみた	#43 古の音 スペイン黄金世紀のドウエラ歌曲
#14 梅の名所 栃木・群馬	#29 KTC混声合唱団を聴く	
#15 早咲きの河津桜	#30 伊勢崎藩を守れ！天明浅間山大噴火	

Back

「齋藤茂樹の北関東巡り」TOPへ戻る

Home

「ホームページ」表紙へ戻る